

カバナー公式訪問（中野了L）



時代に即応したライオンズ活動の原点を目指す、
中野了カバナーのご挨拶。
カバナーズスローガン 『21世紀 今 変革のとき』

平成13年10月15日、立川パレスホテルにおいて、13リジョン合同のカバナー公式訪問が開催された。

会場は雛壇もなく、キャビネット役員の紹介も主だった少数の紹介にとどまり、結婚披露宴を模した華々しいカバナーの入場もなく、粛々と開催された。『21世紀今変革のとき』というカバナーズスローガンにもあるように、正しく、改革の士という印象を受ける。

会員と同じ目線で物事を見聞きたいという中野カバナーの方針は、地区分割もさることながら、キャビネット委員会を16委員会220名と縮小し、カバナー評議会を過去7年に改革し、世界ライオンズ奉仕デーの再確認、特に、ガバナーズ通信 に書かれているように、キャビネットは各クラブの奉仕活動を主導するのではなく、情報の提供、企画の提案と支援がその役目であるという確認である。

各期各期のカバナーの思い付きのような年代わりアクティビティを、各単一クラブに押し付ける最近の風潮の中で、中野カバナーの方針には心よりの賛同である。

現在の経済状況を踏まえ、小さい政府にした改革は、簡単そうで難しいことであろうと想像するが、いとも簡単にやってしまう中野カバナーは、『ライオンズが変わるといふ快い予感』を与えてくれる。



石井隆司会長の歓迎の挨拶。



表彰を受ける小倉雅雄前会長



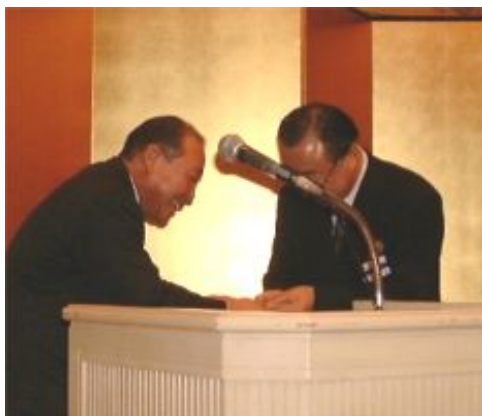
新入会員の紹介。



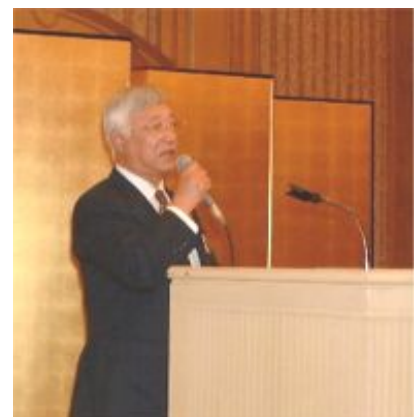
カバナー中野了と記念撮影。



懇親会で談笑するメンバー。何時見てもみんなお元気です。
このバイタリティーは何処から来るのでしょうか？



田野倉和己ゾーン総務より、
ドネーションをカバナーへ。



閉会の辞のご挨拶は
木村幸ゾーンチェアマン。